

今年発表した一ばん好きな自作について

牧野信一

青空文庫

今年発表した作品のうちでは次の三篇に幾分の好意を感じる。

小林君と河上君の言葉を覚えてゐる。

ラガド大学参観記

吊籠と月光と

歌へる日まで（西部劇通信、アウエルバツハの歌）

以上は相通ずる意味を持つものであり、またその他単独のものを幾つか発表したのが、特に好き嫌ひを区別することは困難である。

青空文庫情報

底本：「牧野信一全集第四卷」筑摩書房

2002（平成14）年6月20日初版第1刷発行

底本の親本：「作品 第一巻第八号（十二月号）」作品社

1930（昭和5）年12月1日発行

初出：「作品 第一巻第八号（十二月号）」作品社

1930（昭和5）年12月1日発行

※底本編集時に付されたと思われる、表題冒頭の「●」は省きました。

※「今年発表した一ばん好きな自作について」と題したアンケート

トへの、回答です。

入力：宮元淳一

校正：門田裕志

2011年8月1日作成

2016年5月9日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

今年発表した一ばん好きな自作について

牧野信一

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>